

お 知 ら せ

平成23年3月8日
午後 5時30分
大分県農林水産部

大分市宮尾における高病原性鳥インフルエンザの発生 に伴う環境省の現地調査結果について

大分県及び宮崎県の養鶏場における高病原性鳥インフルエンザ発生に伴い、環境省が現況把握のため現地調査を実施しましたが、その調査結果について、別添「環境省広報室（大分県及び宮崎県における野鳥の現地調査結果について）」のとおり発表がありましたのでお知らせします。

【調査期間・内容】

月 日	平成23年2月10日（木）から2月13日（日）
実施主体	環境省
場 所	発生地周辺
内 容	糞便調査

【調査結果】

詳細については、別添「環境省広報室（大分県及び宮崎県における野鳥の現地調査結果について）」を参照してください。

【問い合わせ先】

森との共生推進室 安東、玉田
電話 097-506-3870,3876

報道各社御中←環境省広報室

大分県及び宮崎県における野鳥の現地調査結果について

大分県及び宮崎県において2月10日から13日にかけて実施した野鳥の現地調査で採取された糞からは、高病原性鳥インフルエンザウイルス・強毒タイプは検出されませんでしたのでお知らせします（別紙参照）。

今回の結果について、環境省としては、現地周辺の野鳥の感染状況は高密度ではないとの認識ですが、今回検出されなかったことをもって、ウイルスを保有していないことを証明するものではありません。

環境省は、関係府省、大分県、宮崎県等と連携して、レベル3の取組を引き続き推進してまいります。

平成23年3月8日（火）

自然環境局野生生物課鳥獣保護業務室

直通：03-5521-8285

代表：03-3581-3351

室長：宮澤 俊輔（内線6470）

室長補佐：山本 麻衣（内線6471）

専門官：福嶋 貢史（内線6474）

担当：千葉 康人（内線6473）

（九州地方環境事務所096-214-0339）

(別紙)

検査結果

	サンプル数	高病原性鳥インフルエンザ・強毒タイプ	その他の鳥インフルエンザウイルス	鳥インフルエンザウイルス検出なし
糞便	208 (糞1028個)	0	1※	207

※野生の水鳥が本来保有していると考えられるウイルス。